

12月31日
12月
12月

患者にやさしい街づくりを

医療法人社団 緑星会
どうたれ内科診療所

を見いだしている医師。急速な高齢化という常盤平団地の将来像を予見し、訪問看護ステーションや居宅介護支援診療所を併設してきた。

ますます高まる地域医療のニーズにこたえるべく、松戸市常盤平地区を中心とした地域を対象に、14年前に開設されたどうたれ内科診療所。

また「一人暮らしあんしん電話」「おたずねフォン」という即応システムも創設。さらに、在宅医療（訪問診療・往診）や認知症患者への対応などを通して、高齢者にやさしい街づくりにも貢献している。

千葉大学医学部第3内科（主に循環器病が対象）教室に入局したのち、千葉西総合病院などへの勤務を経て、地域密着型医療を目指す堂垂伸治院長が主宰している。

地域住民への人間愛に基づく医療の展開という点で、堂垂院長は、



堂垂伸治院長

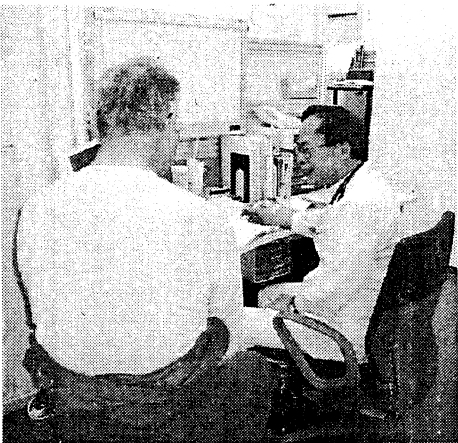
堂垂院長は総合医という立場から、自分なりの医療を追究し、診療にやりがい

「これからの時代、専門医としてばかりでなく、幅広い教養と人間性を兼ね備えた医師が増えることが求められている」と意欲的に語っている。

◆堂垂伸治院長プロフィール

千葉大学医学部卒。千葉大学医学部第3内科、千葉県救急医療センター、千葉西総合病院などを経て1999年、松戸市にどうたれ内科診療所を開業。

◆診療案内▽診療科 内科▽受付時間 9～12時・15～18時▽休診日 日曜日（土曜は午前のみ）
▽住所 松戸市常盤平1の20の3
▽電話 047(394)0600



どうたれ内科診療所での診療風景